

新型コロナウイルス■「桜」追及■野党連携



共産・志位氏、 立民・枝野氏が 3点で合意

日本共産党の志位和夫委員長と立憲民主党の枝野幸男代表は2月19日夜、東京都内で会談し、直面する国政課題と野党連携などについて協議しました。

野党連合政権に向け 政策的不一致点の説明も

会談では、3点を確認(右囲み)。志位委員長は会談後の会見で、「そのうえで」として次のように述べました。

「私から野党連合政権に向けて歩みをすすめるためにも、政策的な一致点を広げるとともに、不一致点についてどう対応するか、4点を公式に各党に説明に行きたいと提案しました。一つは、日米安保条約の問題、二つ目は自衛隊の問題、三つ目は天皇の制度の問題、最後は、社会主義・共産主義の問題です。

これらについて、わが党は独自の政策的・政治的立場を持っており、それを主張していきますが、共闘に持ち込まないと明らかにしており、そのことを公式に説明にうかがいたいということを提案いたしました。枝野代表からは、お受けいただけるのご返事がありました」

- 1、新型コロナウイルス対策について水際対策、クルーズ船の対応を含め、政府の問題点を今後も厳しくただしつつ、国民の命と健康を守るため感染拡大の防止、情報開示、すみやかに抜本的な財政措置の強化を政府に求めていく。
- 2、「桜を見る会」、黒川弘務東京高検検事長の定年延長の問題については首相と政府の答弁は完全に破綻をしており、徹底的にこの問題で追及の手を緩めない。
- 3、野党連携についてはより今後とも強めていくこと、お互いのコミュニケーションを継続していく。

市民+野党で安倍政権ストップ!!

野党共闘は進化しています。「桜」疑惑で追い詰められた安倍首相が、日本共産党を「暴力革命の方針」などとののしった問題でも野党が共同で、事実と異なる、公党に対する侮辱だとして謝罪と撤回を求めました。市民と野党の共同で安倍政権をストップさせましょう。



参議院議員(東京選挙区選出)
やまぞえ・たく

山添 拓

日本共産党

東京
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

20年2月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

新型コロナウイルス■「桜」追及■野党連携



共産・志位氏、 立民・枝野氏が 3点で合意

日本共産党の志位和夫委員長と立憲民主党の枝野幸男代表は2月19日夜、東京都内で会談し、直面する国政課題と野党連携などについて協議しました。

野党連合政権に向け 政策的不一致点の説明も

会談では、3点を確認(右囲み)。志位委員長は会談後の会見で、「そのうえで」として次のように述べました。

「私から野党連合政権に向けて歩みをすすめるためにも、政策的な一致点を広げるとともに、不一致点についてどう対応するか、4点を公式に各党に説明に行きたいと提案しました。一つは、日米安保条約の問題、二つ目は自衛隊の問題、三つ目は天皇の制度の問題、最後は、社会主義・共産主義の問題です。

これらについて、わが党は独自の政策的・政治的立場を持っており、それを主張していきますが、共闘に持ち込まないと明らかにしており、そのことを公式に説明にうかがいたいということを提案いたしました。枝野代表からは、お受けいただけるのご返事がありました」

- 1、新型コロナウイルス対策について水際対策、クルーズ船の対応を含め、政府の問題点を今後も厳しくただしつつ、国民の命と健康を守るため感染拡大の防止、情報開示、すみやかに抜本的な財政措置の強化を政府に求めていく。
- 2、「桜を見る会」、黒川弘務東京高検検事長の定年延長の問題については首相と政府の答弁は完全に破綻をしており、徹底的にこの問題で追及の手を緩めない。
- 3、野党連携についてはより今後とも強めていくこと、お互いのコミュニケーションを継続していく。

市民+野党で安倍政権ストップ!!



参議院議員(東京選挙区選出)

やまぞえ・たく

山添 拓

東京
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

20年2月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党